

授 業 科目名	【 G 】	文学Ⅱ	区 分		開講年次	【 G 】 1	単位数	【 G 】 2
	【 H 】	文学Ⅱ	選 択			【 H 】 1		【 H 】 2
科目区分	基本科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブ タイトル	近現代文学における幻想・異空間					担当者	原 善	
授業概要	【概要】	明治期の作品から現代の同時代作品まで、作家を限定することなく、できるだけ多くの幻想文学の短編作品を読み解いてみる。 既に小説そのものが、作家の想像力という〈幻想〉の産物であり、読者を〈異空間〉に誘うものであるとき、そうした原理を最も端的に開示する幻想小説を読み解くことで、文学の本質、作家における〈書く〉という行為の意味、読者における〈読む〉という行為の意味までも明らかにしていきたい。						
	【到達目標】	・それぞれの作品を精読して、その妙味を理解する。 ・幻想文学の深みを理解する。 ・作家における〈書く〉ことの意味を理解する。 ・読者における〈読む〉ことの意味を理解する。						
履修条件	特になし。							
アクティブ ラーニングの 方法	【○】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【○】	双方向アンケート	【－】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①		－ （当てはまらない）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②		－ （当てはまらない）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③		◎ （よく当てはまる）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)④		○ （やや当てはまる）					
他科目との 関連性	文学Ⅰをあらかじめ履修することが望ましい。							
教科書	原善・波瀬蘭編『書くこと／読むことの夢』（文藝空間会、1000円。オンデマンド発行なので授業時に配布する予定である。）							
参考書	随時紹介する。							
評価方法	基本的には毎時間の授業内のリアクションペーパー（100％）（あるいはFormsへの回答）の点数の合計（70％）に授業への積極的な参加度（30％）で評価し、期末の試験やレポートは実施しない予定である。							
フィードバック 方法	毎時間回答回収後に採点基準を示すので、それによって自己評価をしてもらうが、Google Classroomにてリアクションペーパーのうち主だったものについてコメントを付け紹介し、課題を共有する。							
評価基準	上記授業単元の内容について、これをよく理解し、適切に表現できた者には「A」（うち特に優れたものには「S」）を与える。 単元の内容についての理解や表現に不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、単元の内容についての理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」、評価不能の場合は「F」とする。							

授 業 科目名	【 G 】	文学Ⅱ	区 分	開講年次	【 G 】 1	単位数	【 G 】 2
	【 H 】	文学Ⅱ	選 択		【 H 】 1		【 H 】 2
授業回数	授業内容						
1	ガイダンス(文学と幻想について)： 幻想文学を学ぶことの意義について						
	予習：	読書体験を振り返り、どんな幻想文学を読んできていたか思い出しておく。(90分)			復習：	レジュメを参考にしながら本時の授業内容を確認して 幻想文学についての関心を深める。(90分)	
2	川端康成「心中」読解：ものの見方について						
	予習：	前時に配布されたプリントで作品を読んでおく。(90分)			復習：	レジュメを参考にしながら読みを確認するために作品を再読する。(90分)	
3	川端康成「弓浦市」読解：「記憶／幻想のリアリティ」について						
	予習：	テキストで作品を読んでおく。(90分)			復習：	レジュメを参考にしながら読みを確認するために作品を再読する。(90分)	
4	井伏鱒二「へんろう宿」読解：「幻想の現実を侵食する力」について						
	予習：	テキストで作品を読んでおく。(90分)			復習：	レジュメを参考にしながら読みを確認するために作品を再読する。(90分)	
5	絵画「ラス・メニーナス」鑑賞・読解：「見入ること／魅入られること」の関係について						
	予習：	テキストで作品をじっくり眺めておく。(90分)			復習：	レジュメで復習をして、さらにネットで調べて確認しておく。(90分)	
6	映画「押絵と旅する男」鑑賞： 映画の「ラス・メニーナス」性について考える						
	予習：	比較ができるようにテキストで原作を読んでおく。(90分)			復習：	忘れないうちに原作との比較をしておく。(90分)	
7	江戸川乱歩「押絵と旅する男」読解： 映像と言語という媒体の差について						
	予習：	映画と比較して原作を再読しておく。(90分)			復習：	レジュメを参考にしながら読みを確認するために作品を再読する。(90分)	
8	江戸川乱歩「押絵と旅する男」読解：原作の「ラス・メニーナス」性について						
	予習：	テキストで作品を読んでおく。(90分)			復習：	レジュメを参考にしながら読みを確認するために作品を再読する。(90分)	
9	江戸川乱歩「人間椅子」読解：メタ・フィクション性について						
	予習：	プリントで作品を読んでおく。(90分)			復習：	レジュメを参考にしながら読みを確認するために作品を再読する。(90分)	
10	村上春樹「スパゲッティ工場の秘密」読解：作家における創作の秘儀について						
	予習：	前時を振り返り作品を再読しておく。(90分)			復習：	レジュメを参考にしながら読みを確認するために作品を再読する。(90分)	
11	秦恒平「加賀少納言」(小説)読解：小説とエッセイというジャンルの問題について						
	予習：	テキストで作品を読んでおく。(90分)			復習：	レジュメを参考にしながら読みを確認するために作品を再読する。(90分)	
12	谷崎潤一郎「少将滋幹の母」読解：文学が不浄観あるいはその逆であることについて						
	予習：	テキストで作品を読んでおく。(90分)			復習：	レジュメを参考にしながら読みを確認するために作品を再読する。(90分)	
13	幸田露伴「縁外縁」読解：悲劇の要素について、そして物語内容／物語言説の順序の差について						
	予習：	テキストで作品を読んでおく。(90分)			復習：	レジュメを参考にしながら読みを確認するために作品を再読する。(90分)	
14	太宰治「魚服記」読解：物語の空白あるいはタブーを侵食する幻想について						
	予習：	テキストで作品を読んでおく。(90分)			復習：	レジュメを参考にしながら読みを確認するために作品を再読する。(90分)	
15	中島敦「文字禍」読解：幻想を喚起する文字なるものについて(宮沢賢治「おきなぐさ」との対比)						
	予習：	テキストとプリントで作品を読んでおく。(90分)			復習：	レジュメを参考にしながら読みを確認するために作品を再読し、 本時だけでなく授業全体のまとめを確認する。(90分)	
その他	基本的にはパワーポイントでの講義形式を中心とするが、その読みを相対化すべく各自の読みを対照させる形の、積極的な参加を期待したい。 毎時間簡単なクイズを課すので、当該作品は必ず読んだ上で授業に臨んでほしい。						